



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2812 URL http://www.yskf.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 和広
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 大勝 利昭 (TEL) 054-202-6044
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,173	△0.3	559	△7.0	615	2.3	375	8.8
25年3月期第2四半期	10,200	△0.5	601	6.5	601	△0.0	345	△2.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 689百万円(152.0%) 25年3月期第2四半期 273百万円(△34.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	27.95	—
25年3月期第2四半期	24.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	21,886	18,704	85.5
25年3月期	21,626	18,190	84.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 18,704百万円 25年3月期 18,190百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	13.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,110	1.4	1,555	11.7	1,655	13.7	1,010	13.9	72.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	14,056,198株	25年3月期	14,056,198株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	606,023株	25年3月期	605,779株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	13,450,322株	25年3月期2Q	14,050,598株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業務予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）のわが国経済を取り巻く環境は、安倍政権の経済政策アベノミクスによる円高是正や株価上昇、雇用情勢の改善などを背景として、個人消費の持ち直しやデフレ状況の緩和も加わり、景気は緩やかに回復しつつあります。

このような中、当社グループでは、新中期経営計画「Change & Challenge」の初年度にあたり、自らが“変化”し、新しいことに“挑戦”していく企業風土を醸成しながら、更なる企業価値向上と持続的な成長の実現に向けた取り組みを進めております。

具体的には、4つの柱（i. 既存事業の深化、ii. 新商品・サービス開発、iii. 新規顧客開拓、iv. 新事業領域開拓）へ経営資源を集中投入すべく、販売及び開発の体制を見直し、既存事業を強化しつつ新規開拓専任の部署を設けて新たな分野への仕掛けを積極的に行いました。また、製造面では、8月29日に掛川市で新工場の起工式を行い、BCP対策を着実に進めるとともに、事業拡大に向けた生産性及び品質の向上に取り組んでいます。これらの施策を確実に成果に結び付けるため、各部署で数値目標を設定し、その進捗管理を実施することで計画の達成に努めました。

連結売上高につきましては、医療栄養食におけるOEM生産の減少が響き、101億73百万円（前年同四半期比27百万円、0.3%減）となりましたが、主力の調味料事業及び水産物事業では増収となりました。利益面につきましては、売上減少に伴い連結営業利益は5億59百万円（同41百万円、7.0%減）となりましたが、連結経常利益は前期に計上した匿名組合投資損失等がなくなり6億15百万円（同13百万円、2.3%増）、連結四半期純利益は3億75百万円（同30百万円、8.8%増）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。なお、当連結会計年度より、従来「その他」に含めていた「各種わさび類他香辛料」について報告セグメント区分の「調味料」に含めた記載に変更し、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(調味料)

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種わさび類他香辛料の製造販売です。売上高は前年を上回り、42億63百万円（前年同期比13百万円、0.3%増）、セグメント利益（営業利益）は6億4百万円（同51百万円、9.3%増）となりました。

(機能食品)

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売及び医療栄養食のOEM製造販売ですが、医療栄養食のOEM製造販売が3億22百万円減少した影響で、売上高は31億86百万円（同3億51百万円、9.9%減）、セグメント利益（営業利益）は3億33百万円（同28百万円、8.0%減）となりました。

(水産物)

水産物は、主に冷凍鮭・冷凍鯉の原料販売並びに加工製品の製造販売です。鮭の販売が輸出向けを中心に好調に推移し、問屋船の入港も堅調だったことから、売上高は21億24百万円（同3億85百万円、22.2%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、前期から続く原料高の影響はあったものの、販管費の節減等で30百万円（同9百万円、43.2%増）となりました。

(その他)

その他は、その他商品の販売ですが、売上高は5億99百万円（同74百万円、11.1%減）、セグメント利益（営業利益）は9百万円（同22百万円、71.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ2億59百万円増加し、218億86百万円となりました。

流動資産は、商品及び製品が71百万円、原材料及び貯蔵品が3億66百万円増加した一方、現金及び預金が1億59百万円、受取手形及び売掛金が5億63百万円減少したことにより3億36百万円減少し、108億92百万円となりました。

固定資産は、新工場の建設に伴い建設仮勘定が4億63百万円増加するとともに、投資有価証券が株価の上昇等により3億5百万円増加したことなどにより5億95百万円増加し、109億93百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金が63百万円増加する一方、支払手形及び買掛金が1億34百万円、未払法人税等が90百万円減少したことなどにより3億33百万円減少し、27億66百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が1億31百万円増加したことなどにより78百万円増加し、4億15百万円となりました。

純資産は利益剰余金が2億1百万円、その他有価証券評価差額金が2億42百万円増加したことなどにより5億14百万円増加し、187億4百万円となりました。

この結果、自己資本比率は85.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は22億39百万円となり、前連結会計年度末比1億40百万円減少しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、増加した資金は6億70百万円（前年同期比4億9百万円増）となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益6億11百万円、減価償却費3億10百万円、売上債権の減少5億71百万円などの増加要因に対し、たな卸資産の増加4億28百万円、法人税等の支払い3億24百万円、仕入債務の減少1億34百万円などの減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は6億35百万円（前年同期比6億47百万円増）となりました。この内訳の主なものは、新工場の建設資金の支払いなどにより有形固定資産の取得による支出が7億19百万円となったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、減少した資金は1億84百万円（前年同期比88百万円増）となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額1億74百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月10日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,118,530	2,958,833
受取手形及び売掛金	4,814,110	4,250,620
商品及び製品	1,339,387	1,410,771
原材料及び貯蔵品	1,709,522	2,075,801
繰延税金資産	148,956	161,895
その他	106,496	41,807
貸倒引当金	△8,200	△6,980
流動資産合計	11,228,802	10,892,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,420,677	2,398,347
機械装置及び運搬具(純額)	1,266,325	1,223,257
土地	3,419,907	3,433,380
リース資産(純額)	58,597	49,490
建設仮勘定	124,600	588,010
その他(純額)	65,290	63,510
有形固定資産合計	7,355,398	7,755,996
無形固定資産		
投資その他の資産	170,305	153,180
投資有価証券	2,585,426	2,890,566
繰延税金資産	5,486	5,486
その他	293,987	196,952
貸倒引当金	△12,639	△8,621
投資その他の資産合計	2,872,260	3,084,384
固定資産合計	10,397,964	10,993,561
資産合計	21,626,767	21,886,311

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,904,313	1,770,021
リース債務	18,767	19,748
未払法人税等	343,899	253,132
未払消費税等	38,209	22,578
賞与引当金	115,854	179,764
役員賞与引当金	—	10,000
その他	679,033	511,514
流動負債合計	3,100,076	2,766,760
固定負債		
リース債務	47,254	35,780
繰延税金負債	66,064	197,666
退職給付引当金	199,299	157,979
長期未払金	13,434	13,434
その他	10,465	10,465
固定負債合計	336,520	415,327
負債合計	3,436,596	3,182,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	11,363,862	11,564,978
自己株式	△489,245	△489,450
株主資本合計	17,906,393	18,107,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,459	540,790
為替換算調整勘定	△14,682	56,129
その他の包括利益累計額合計	283,777	596,920
純資産合計	18,190,170	18,704,224
負債純資産合計	21,626,767	21,886,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	10,200,966	10,173,822
売上原価	7,853,134	7,909,945
売上総利益	2,347,831	2,263,876
販売費及び一般管理費	1,746,673	1,704,599
営業利益	601,157	559,277
営業外収益		
受取利息	1,233	3,004
受取配当金	27,176	30,618
受取賃貸料	8,308	7,991
為替差益	—	21,278
その他	39,747	23,029
営業外収益合計	76,465	85,921
営業外費用		
支払利息	89	56
匿名組合投資損失	31,691	—
為替差損	9,989	—
たな卸資産廃棄損	12,986	7,524
保険解約損	11,689	16,157
その他	9,621	6,046
営業外費用合計	76,067	29,784
経常利益	601,555	615,414
特別利益		
固定資産売却益	6	—
投資有価証券売却益	—	7,825
保険収益	4,865	—
国庫補助金	6,260	—
特別利益合計	11,131	7,825
特別損失		
固定資産除却損	3,196	11,815
災害による損失	3,408	—
固定資産圧縮損	6,118	—
賃貸借契約解約損	34,564	—
特別損失合計	47,287	11,815
税金等調整前四半期純利益	565,399	611,424
法人税等	219,842	235,454
少数株主損益調整前四半期純利益	345,556	375,970
四半期純利益	345,556	375,970

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	345,556	375,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,709	242,330
為替換算調整勘定	1,610	70,812
その他の包括利益合計	△72,098	313,143
四半期包括利益	273,457	689,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	273,457	689,113
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	565,399	611,424
減価償却費	318,937	310,323
のれん償却額	—	637
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△19,924	△41,320
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,900	△5,238
賞与引当金の増減額(△は減少)	57,663	63,910
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	9,000	10,000
受取利息及び受取配当金	△28,410	△33,622
支払利息	89	56
為替差損益(△は益)	2,483	2,610
有形固定資産除却損	3,196	11,815
有形固定資産売却損益(△は益)	△6	—
匿名組合投資損益(△は益)	31,691	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△7,825
賃貸借契約解約損	34,564	—
売上債権の増減額(△は増加)	△108,099	571,899
たな卸資産の増減額(△は増加)	△324,203	△428,623
その他の流動資産の増減額(△は増加)	56,520	47,487
その他の固定資産の増減額(△は増加)	58,017	96,461
仕入債務の増減額(△は減少)	6,465	△134,613
未払消費税等の増減額(△は減少)	△62,951	△20,462
長期未払金の増減額(△は減少)	△18,561	—
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△29,903	△91,874
その他	3,367	△19,740
小計	558,236	943,304
利息及び配当金の受取額	28,410	33,628
利息の支払額	△89	△56
法人税等の支払額	△327,367	△324,381
法人税等の還付額	1,411	17,995
営業活動によるキャッシュ・フロー	260,600	670,490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△651,932	△644,781
定期預金の払戻による収入	668,345	663,932
有価証券の取得による支出	△28	—
有価証券の償還による収入	28,228	—
有形固定資産の取得による支出	△1,296,103	△719,211
有形固定資産の売却による収入	15	—
無形固定資産の取得による支出	△28,709	△12,511
投資有価証券の取得による支出	△2,651	△2,696
投資有価証券の売却による収入	—	79,314
その他	—	279
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,282,836	△635,674

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△25,817	—
長期借入金の返済による支出	△70,000	—
自己株式の取得による支出	△37	△205
配当金の支払額	△168,310	△174,386
リース債務の返済による支出	△8,892	△9,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	△273,058	△184,584
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,951	9,224
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,297,245	△140,545
現金及び現金同等物の期首残高	3,282,296	2,379,597
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,985,050	2,239,052

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,249,909	3,538,077	1,738,901	9,526,889	674,076	10,200,966	—	10,200,966
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	3,590	3,616	7,206	13,199	20,406	(20,406)	—
計	4,249,909	3,541,667	1,742,518	9,534,096	687,276	10,221,372	(20,406)	10,200,966
セグメント利益	552,924	362,287	21,329	936,541	31,623	968,165	(367,007)	601,157

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額367,007千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,263,074	3,186,606	2,124,675	9,574,356	599,465	10,173,822	—	10,173,822
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	4,480	4,480	—	4,480	(4,480)	—
計	4,263,074	3,186,606	2,129,156	9,578,837	599,465	10,178,302	(4,480)	10,173,822
セグメント利益	604,274	333,412	30,542	968,230	9,157	977,387	(418,109)	559,277

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額418,109千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「各種わさび類他香辛料」について報告セグメント区分の「調味料」に含めて記載することに変更しております。これは、当社グループのオーケー食品株式会社が平成25年3月31日付けで当社に事業譲渡を行い、同日付けで解散したことにより、当社において「調味料」と「各種わさび類他香辛料」とを一体として業績を評価することとしたためです。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報」に記載しております。

変更後の各報告セグメントの主要な製品及びサービスは次のとおりであります。

(報告セグメント)

調味料	各種エキス、各種オイル、各種スープ、各種粉末調味料、風味調味料、各種具材・惣菜、各種低塩調味料、調味料類受託加工、各種わさび類他香辛料
機能食品	各種海洋機能性素材、キッチン・キットサン・オリゴ糖類、医療栄養食を含む各種機能食品、各種機能食品受託加工
水産物	冷凍マグロ・カツオ加工、水産物問屋業、倉庫業